

## 早産しやすい絨毛膜羊膜炎！

### \*. 絨毛膜羊膜炎は子宮の”卵膜”や”羊水”の感染症です。

熊本県では、妊娠中期における早産が多く、特に22～24週の超早期産の占める割合が高い状況にあります。早産に至った胎盤を調べるとかなりの頻度で卵膜が炎症（絨毛膜羊膜炎）を起こしていることがわかってきました。

絨毛膜羊膜炎は早産の主要な原因であるばかりでなく、感染が子宮内に及べば、赤ちゃんが危険な状態に陥ることがあります。

子宮の中の赤ちゃんは、だつらくまく 脱落膜、じゅうもうまく 絨毛膜、ようまく 羊膜の3枚の膜（卵膜）で守られています。腔・子宮頸管には細菌感染から子宮を守るはたらきがあるのですが、この機能がなんらかの理由で働かなくなると、卵膜などに炎症が及んで子宮を収縮させ、破水や早産が起こりやすくなると考えられています。

◆症状：絨毛膜羊膜炎の場合には、子宮の痛み、破水、発熱などがみられますが、初期にはおなかが張る、帯下（おりもの）が増える、といった症状のみであったり、無症状のことも少なくありません。

### \*. 妊娠中のセックス（性行為）は、コンドームの使用を！

妊娠中のコンドームを使用しないセックスは、膣炎・子宮頸管炎の原因となり、また絨毛膜羊膜炎を助長することになる可能性が指摘されています。

担当の先生から、妊娠中のセックスを避ける、あるいはコンドームを使用するよう指導があった場合は、それに従ってください。

～妊娠中の異常を早期に発見するためにも、定期的に妊婦健康診査を受けましょう。～



## 喫煙も、早産の原因に！

たばこを吸っている妊婦は、吸わない妊婦より、1.5倍ほど自然流産しやすくなり、1.4～1.5倍ほど早産しやすくなります。吸う本数が増えるほど、早産しやすくなるばかりでなく、赤ちゃんの体重も軽くなってしまいます。



## 歯周病は早産の原因に！

歯周病も早産の原因の1つであるという研究報告があり、歯周病が進んでいる妊婦は普通の妊婦に比べて早産の危険率が高いといわれており、また、お母さんの口の中にむし歯菌が多かったりすると、出産後にお子さんに口移し等でむし歯菌を感染させ、むし歯になりやすい子どもになってしまうということもわかってきています。

妊娠したら、歯科医院で歯の健診を受け、むし歯や歯周病があったら、治療や指導を受けるようにしましょう。

